

2025 年度 各授業学習目標・授業目標 科目名：2 年探究 生活文化

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家事労働の意義と課題を自らの言葉で説明することができる。 ・ 家事労働を協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むためにはたらきとして実践したり提案したりすることができる。 <p>【思考・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家事労働に関する知識、実際の関わりを通して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現することができる。 <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家事労働を見つめなおす中から課題を見つけ、研究・調査をしながら課題を解決しようとしている。 ・ 家事労働に関し、いつの時代にも生かすことのできる知識と技術を身に付けるにはどうしたらよいかを考え、もって社会全体の生活を向上させようとしている。 	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 家事労働研究の潮流を理解し、自らの言葉で説明することができる。 ② 家事労働に関する情報収集および実際の関わりを通して課題をとらえ、生活主体としての意識をもって研究・調査に向かうことができる。 <p>【思考・判断・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 家事労働の意義を考えたり、日常生活における自分の生活と照らし合わせたりしながら、家事労働がもつ社会的な課題を洗い出すことができる。 ② 家事労働に関する知識、実際の関わりを通して具体的な課題を設定し、その解決に向けて仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案することができる。 <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 家事労働の現状を科学的な視点から捉える力を養おうとしている。 ② 家事労働にかかわる課題提起を、自身の生活、生き方に関する考えおよび、社会的視点を持ってしようとしている。 	

< 1 学期 >

授業日	4/15(火)	1 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】－ 【学びに向かう力・人間性】① ----- 本時の具体的な目標 ・ (全体オリエンテーション) 探求授業において身につけるべき力について理解することができる ・ 家事労働を俯瞰することができる		
時間 授業内容	5 時間目 6 時間目	・ 全体オリエンテーション ・ 授業ガイダンス、家事労働を俯瞰する	
評価方法	2 年間の取り組みを通し目指すべき到達点を理解することができたか、家事労働をイメージすることができたか「学びの記録」によって評価する。		
宿題指示	なし		

授業日	4/22(火)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】① ----- 本時の具体的な目標 ・ 家事労働を「生活の営みに係る見方、考え方」をもって捉えることができる ※「生活の営みに係る見方、考え方」とは、家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、生涯にわたって自立し共に生きる生活を創造できるよう、よりよい生活を営むために工夫すること。 ・ 得た知識をもとに自分の考えを構想したり表現したりするなどしてより深い理解に昇華させることができる		
時間 授業内容	5,6 時間目	・ 用語説明 ・ 得た知識を教科書等を用いて補強し、自らの言葉でまとめる ・ 家事労働に付随する問題を羅列する	
評価方法	・ 「生活の営みに係る見方、考え方」を用語として理解することができたか ・ 自主的に知識を得ようとしているか、また、その知識を自らの言葉に咀嚼して表すことができたか		
宿題指示	学びの記録の記入		

授業日	4/30(木)	1 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】① ----- 本時の具体的な目標 ・ 家事労働を「生活の営みに係る見方、考え方」をもって捉えることができる ・ 家事労働に付随する課題を理由や根拠を示しながら提示することができる		
時間 授業内容	5 時間目 6 時間目	・ “家事労働に付随する問題”だと考える事柄についての意見共有、レポート作成 ・ レポートの書き方を知る 参考文献：慶應義塾大学日吉キャンパス学習相談員『学生による学生のためのダメレポート脱出法』、慶應義塾大学出版会、2015、13-23 頁	
評価方法	作成したレポートが客観的な根拠に基づいて論理的に示されているか、自らで判断することができたか		
宿題指示	なし		

授業日	5/13(火)	1 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】① 本時の具体的な目標 ・家事労働を「生活の営みに係る見方、考え方」をもって捉えることができる ・家事労働に付随する課題を理由や根拠を示しながら提示することができる		
時間 授業内容	5,6 時間目	・「新書」「文献」「論文」「統計」「辞典」「雑誌」「WEB」「新聞」などのリソースを用い、家事労働に付随する課題を見つける ・見つけた課題を客観的・論理的な文章にまとめる	
評価方法	・根拠や事実に基づき、説得力のある説明をすることができたか		
宿題指示	なし		

授業日	5/27(火)	1 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】① 本時の具体的な目標 ・家事労働を「生活の営みに係る見方、考え方」をもって捉えることができる ・資料の横断的な活用を通じて家事労働に係る見方、考え方を深めることができる		
時間 授業内容	5,6 時間目	・前週に引き続き、書籍等のリソースを用い家事労働に付随する課題を見つける ・収集した情報から新たな課題を導く	
評価方法	・根拠や事実に基づき、説得力のある説明をすることができたか ・家事労働に関する課題を連鎖的に発展させることができたか		
宿題指示	情報カードの作成		

授業日	6/3(火)	1 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】— 本時の具体的な目標 ・家事労働を「生活の営みに係る見方、考え方」をもって捉えることができる ・親の役割を認識することができる		
時間 授業内容	5, 6 時間目	・「たまごちゃん」をお世話する（準備） 保護者役の生徒（2～3人組）が協力して赤ちゃんにみたてた「たまごちゃん」を1週間育てる。「たまごちゃん」は学校に登校し教室に入る前に家庭科室に設定した「保育園」に預け、放課後帰宅する前に迎えに行く。生徒と保育士（教員）は育児日誌を毎日作成する。 ①お見合い（仲間の価値観を知る） ②パートナーとの子育て、シングルでの子育てなど子育ての方法を設定する。 パートナーは異性・同性を問わない。 ③「たまごちゃん」に顔を描き、名前をつけて出生届を出す。命名書の作成。 ④ お世話の役割分担を決める。	
評価方法	・「たまごちゃん」のお世話を責任をもってすることができたか ・親の役割について考えを深めることができたか		
宿題指示	「たまごちゃん」のお世話		

授業日	6/10(火)	1 学期授業回数	7回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】— 本時の具体的な目標 ・家事労働を「生活の営みに係る見方、考え方」をもって捉えることができる ・幼児との触れ合いやかかわり方の工夫ができる		
時間 授業内容	5,6 時間目	「たまごちゃん」のお世話をする（振り返り） ・幼児食（1歳児を想定）の試食 前日の“登園時”に補食として「たまごちゃん」のおやつを持参させていた。 その評価と実食をした。 ・「たまごちゃん」の成長記録を完成させる	
評価方法	・「たまごちゃん」のお世話を責任をもってすることができたか ・こどもを育てることについて考えを深め、言語化することができたか		
宿題指示	情報カードの作成（継続）		

授業日	6/17(火)	1 学期授業回数	8回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】① 本時の具体的な目標 ・家事労働を「生活の営みに係る見方、考え方」をもって捉えることができる ・資料から得た知識、実習から得た気づきをもとに家事労働に関する課題を整理し、自分なりの「問い」を創り出すことができる		
時間 授業内容	5,6 時間目	・知識や気づきをもとに、家事労働に関する自分なりの「問い」を作り出す ・発表準備 —テーマ— 家事労働に対する「見方」は1学期当初からどのように変化したか、学習後の今、抱く「問い」は何か	
評価方法	・家事労働に関する自分なりの「問い」を作り出すことができたか ・家事労働に対する「見方」の変化を、理由や根拠を示しながら示すことができたか（次週の発表を含め評価）		
宿題指示	情報カードの作成（継続）、プレゼンテーション準備		

授業日	6/24(火)	1 学期授業回数	9回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①, ② 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】① 本時の具体的な目標 ・家事労働を「生活の営みに係る見方、考え方」をもって捉えることができる ・自らの考えを聞き手（仲間）がわかる言葉、スライドで示すことができる ・仲間の発表を評価し、課題を指摘することができる		
時間 授業内容	5,6 時間目	・発表 —テーマ— 家事労働に対する「見方」は1学期当初からどのように変化したか、学習後の今、抱く「問い」は何か	
評価方法	・家事労働に関する自分なりの「問い」を作り出すことができたか ・家事労働に対する「見方」の変化を、理由や根拠を示しながら表現することができたか		
宿題指示	相互評価表の作成		

<2学期>

授業日	9/9(火)	2学期授業回数	1回目 / 全9回
本時	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】		
学習目標	本時の具体的な目標 ・夏休みの課題「よいプレゼンとは何か」を説明することができる ・仲間と意見を調整することができる		
時間 授業内容	5,6時間目	・発表1(個人) —テーマ— よいプレゼンとは何か ・発表2(グループ) —テーマ— よいプレゼンとは何か	
評価方法	・課題に対する答えを理由や根拠を示しながら説明することができたか ・自らの考えと他者の考えを調整し、ひとつのかたちにまとめることができたか		
宿題指示	なし		

授業日	9/16(火)	2学期授業回数	2回目 / 全9回
本時	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】② 【学びに向かう力・人間性】②		
学習目標	本時の具体的な目標 ・家事労働にかかわる課題提起を社会的視点を持つてすることができる ・仲間と意見を調整することができる		
時間 授業内容	5,6時間目	・(個人) 家事労働にかかわる課題を提起する ・(グループ) 同じ課題を持った者同士、グループに分かれ課題を精査する	
評価方法	・自らが立てた課題を理由や根拠を示しながら説明することができたか ・自らの考えと他者の考えを調整し、ひとつのかたちにまとめることができたか		
宿題指示	なし		

授業日	9/25(木)	2学期授業回数	3回目 / 全9回
本時	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】② 【学びに向かう力・人間性】②		
学習目標	本時の具体的な目標 ・家事労働にかかわる現状や既存の研究を調査・分析し、自分の研究の位置付けを明確にすることができる (1) 課題の背景を理解し、まとめる		
時間 授業内容	5,6時間目	・自らの立てた課題の一般的背景を理解する ・自ら立てた課題が社会的、学問的に価値ある課題であることを証明する	
評価方法	・研究の理論的背景を整えるために必要な論文やデータを見つけることができたか ・自らが立てた課題をより深く追求するための基盤を築くことができたか(背景を論理的に説明できたか)		
宿題指示	自らが立てた研究課題の背景を文章にまとめる		

授業日	9/30(火)	2学期授業回数	4回目 / 全9回
本時	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】② 【学びに向かう力・人間性】②		

学習目標	本時の具体的な目標 ・家事労働にかかわる現状や既存の研究を調査・分析し、自分の研究の位置付けを明確にすることができる (2) 既存の研究を理解し、新たな研究の必要性をまとめる	
時間 授業内容	5,6 時間目	・自らが立てた課題について、過去に行われた調査や研究を調べる ・自らの研究の新規性を明らかにすることができる
評価方法	・既存の調査や研究を見つけ、理解・説明することができたか ・自らの研究の新規性を明らかにすることができたか	
宿題指示	先行研究をまとめ、自らが立てた研究課題の新規性を説明する	

授業日	10/7(火)	2 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】② 【学びに向かう力・人間性】② 本時の具体的な目標 ・家事労働にかかわる現状や既存の研究を調査・分析し、自分の研究の位置付けを明確にすることができる (3) 1, 2 をふまえ自分の研究を位置づけ、具体的な研究法を検討する		
時間 授業内容	5,6 時間目	・自らの研究を新規性のあるものとして位置づけるか、先の課題を解決するものとするか検討する ・自らの研究の方法（アプローチ方法）を検討する（ブレインストーミング）	
評価方法	・先行研究を活かす方法を検討することができる ・「問い」を解決するためのアプローチ法を複数出すことができる		
宿題指示	なし		

授業日	10/23(木)	2 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】② 【学びに向かう力・人間性】② 本時の具体的な目標 ・自分の研究の経過を他者に説明することができる (第 67 回中高研究集会〈主催：キリスト教学校教育同盟〉における「探究型授業見学」を活用)		
時間 授業内容	5,6 時間目	・自らが立てた研究の背景、先行研究、具体的な研究案を整理する ・来室された先生方に説明する	
評価方法	・他者にわかるように説明することができたか ・先生方の感想や質問から研究のヒントや新たな視点を見つけることができたか		
宿題指示	なし		

授業日	11/11(火)	2 学期授業回数	7 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】② 【学びに向かう力・人間性】② 本時の具体的な目標 家事労働にかかわる現状や既存の研究を調査・分析し、自分の研究の位置付けを明確にすることができる (4) 2 学期に行った一連の取り組みを発表する — A.発表の準備 —		
時間 授業内容	5,6 時間目	・発表資料の作成	

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の経過を順序立てて説明することができたか ・シンプルでわかりやすいプレゼン資料を作成しようとしているか ・グループの全メンバーでの協働作業ができているか
宿題指示	なし

授業日	11/18(火)	2 学期授業回数	8 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】② 【学びに向かう力・人間性】② ----- 本時の具体的な目標 家事労働にかかわる現状や既存の研究を調査・分析し、自分の研究の位置付けを明確にすることができる (4) 2 学期に行った一連の取り組みを発表する — B.授業内発表 —		
時間 授業内容	5,6 時間目	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・内容および資料のブラッシュアップ 	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の発表の内省ができたか ・他グループからのアドバイスを建設的に受け止めることができたか ・他グループの立てた「問い」「解決策」を理解し、適切なアドバイスをすることができたか 		
宿題指示	発表内容、および資料の修正		

授業日	11/25(火)	2 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】② 【学びに向かう力・人間性】② ----- 本時の具体的な目標 家事労働にかかわる現状や既存の研究を調査・分析し、自分の研究の位置付けを明確にすることができる (4) 2 学期に行った一連の取り組みを発表する — C.外部講師への発表 —		
時間 授業内容	5,6 時間目	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・発表へのフィードバックと 2 学期のまとめ 	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「問い」と「目的地」を論理的に説明することができたか ・新しい視点を得ることができたか 		
宿題指示	2 学期に得た情報を論文の「序論」としてまとめる		

<3学期>

授業日	1/13(火)	3学期授業回数	1回目 / 全6回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】② 【学びに向かう力・人間性】① ----- 本時の具体的な目標 調査・研究の方法について見通しを立てることができる (1) 各自の研究目的に基づき仮説と、検証するための調査設計		
時間 授業内容	5,6時間目	・調査の方法を学ぶ ・データの収集計画を立てる	
評価方法	・定量調査、定数調査の違いを理解することができたか ・誰にどのような調査を行うかを大まかに想定することができたか		
宿題指示	なし		

授業日	1/20(火)	3学期授業回数	2回目 / 全6回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】② 【学びに向かう力・人間性】① ----- 本時の具体的な目標 調査・研究の方法について見通しを立てることができる。 (2) 量的調査を用い、研究課題に対する客観的な傾向を把握する		
時間 授業内容	5,6時間目	・仮説の構築（ペルソナの仮設定） ・量的調査（アンケート調査）の調査項目を決める	
評価方法	・調査によって「明らかにしたこと」を明確にできたか ① 研究目的に基づいた仮説を立てる（ペルソナの仮設定をする）ことができたか ② ①に基づき、対象者の属性やアンケート項目を適切に設計することができたか		
宿題指示	なし		

授業日	1/27(火)	3学期授業回数	3回目 / 全6回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】② 【学びに向かう力・人間性】① ----- 本時の具体的な目標 調査・研究の方法について見通しを立てることができる。 (3) データを分析する - A.全体の俯瞰 -		
時間 授業内容	5,6時間目	・データの分析方法を知る ・アンケート全体を俯瞰する	
評価方法	・アンケートを俯瞰し、どのような結論を導くのか想定することができたか		
宿題指示	ピアティーチングにむけての準備		

授業日	2/3(火)	3学期授業回数	4回目 / 全6回
本時	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】② 【学びに向かう力・人間性】① -----		

学習目標	本時の具体的な目標 調査・研究の方法について見通しを立てることができる。 (3) データを分析する - B.数値の把握 -	
時間 授業内容	5,6 時間目	・データの全体像を客観的な数値として把握する
評価方法	・データをもとに、傾向やパターン、因果関係をつかもうとすることができたか	
宿題指示	・ピアティーチングに向けての準備 ・数値データに解釈を加える	

授業日	2/17(火)	3 学期授業回数	5 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】② 【学びに向かう力・人間性】① 本時の具体的な目標 ・1年間の取り組みを根拠に基づいて端的に説明することができる ・仲間の発表をクリティカルに評価することができる		
時間 授業内容	5,6 時間目	・ピアティーチング/全グループが発表	
評価方法	・1年間の取り組みを、根拠に基づき端的に説明できたか ・仲間の発表をクリティカルに評価できたか		
宿題指示	なし		

授業日	2/24(火)	3 学期授業回数	6 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】② 【学びに向かう力・人間性】① 本時の具体的な目標 ・ピアティーチングを振り返ることができる 調査・研究の方法について見通しを立てることができる。 (4) データを分析する - C.質的データの分析 -		
時間 授業内容	5,6 時間目	・ピアティーチングを振り返る ・アンケートから得られた質的データを	
評価方法	・(ピアティーチングの振り返り) 自らの進捗や取り組みを客観的に捉え、課題を得ることができたか ・(データ分析) データの背後にある傾向やパターン、因果関係などを読み解くことができたか		
宿題指示	・ペルソナ分析に必用な要件を点てる ・調査目的にそって、フィールドスタディにおける質問項目やインタビューフローを設計する		